

・区分	Z0700 ソフト部門
タイトル	玉掛けチョッキの着用
動機・改善前の状況	<p>玉掛け作業時における有資格者の確認は、ヘルメットに資格者であることを示すシールを貼る、ヘルバンドを装着する等により識別・確認することが一般的であった。</p> <p>しかし、このような表示だけでは、混在作業の中で玉掛け者が周囲の作業員や重機、クレーンのオペレータからわかりにくい状況が発生してくる。</p> <p>また、玉掛け者に玉掛け作業の認識・役割分担が薄れ、ややもすると、無資格者による作業が発生する恐れもでてくる。</p>
改善・実施事項	玉掛け者に目立つ色(当作業所では黄色)の「玉掛け者」と書かれたチョッキを着用させることで、離れた場所からでも視覚的な識別を可能にした。
改善効果	<p>周囲の作業員や重機、クレーンのオペレータから玉掛け者をはっきり認識させることが可能となった。</p> <p>玉掛け者が従来に比べ、より玉掛け作業に対する自覚と責任感を持つようになり、無資格者による玉掛け作業が無くなった。</p> <p>元請や職長等のパトロール時に点検や指導がしやすくなった。</p>
活動内容 改善事項の図、 写真	 <p>玉掛けチョッキを着用した玉掛け者</p>